

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
EU41C408		特別支援教育・障害児支援の現状と課題(Present States and Issues of Special Needs Education and Support for Children with Disabilities)					高度専門科目									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	2	1	教育学研究科	前期		氏名 佐藤晋治・高橋徹弥・友成洋・古賀精治・衛藤裕司・古長治基 E-mail ssato@oita-u.ac.jp 内線 7531										
授業の概要	授業は、1)地域における特別支援教育の現状と課題、2)インクルーシブ教育における現状と課題、3)障害児支援のための連携の現状と課題、4)学校現場における特別支援教育の現状と課題、の4つの区分領域に基づき講義を行う。各回とも自治体において、現在、使用されている資料(手引き、ガイドライン等)を使用し、法令又は公開されているデータに基づく解説を行う。さらに、その上で現状と課題を把握し、その対応策について討論する。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	特別支援教育に関する7つのテーマ(～は初回配付資料にて明示)について、理論的・実践的知識を得る。															
目標2	各種資料を理解した上で自らの視点で分析できる。															
目標3	分析結果に基づき、解決のための議論・提案ができる。															
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	地域における特別支援教育の現状と課題(1) 特別支援教育の専門性と環境整備															
2	地域における特別支援教育の現状と課題(2) 就学															
3	地域における特別支援教育の現状と課題(3) 就学支援															
4	地域における特別支援教育の現状と課題(4) 特別支援学級・通級指導教室の経営															
5	インクルーシブ教育の現状と課題(1) 通常教育を支えるユニバーサル・デザイン															
6	インクルーシブ教育の現状と課題(2) 通常教育を支える児童生徒の学習レディネス															
7	インクルーシブ教育の現状と課題(3) 小学校・中学校における合理的配慮															
8	インクルーシブ教育の現状と課題(4) 高等学校・大学における合理的配慮															
9	障害児支援のための「連携」の現状と課題(1) 幼稚園等・小学校間の連携															
10	障害児支援のための「連携」の現状と課題(2) 小学校・中学校間の連携															
11	障害児支援のための「連携」の現状と課題(3) 教育と医療の連携の現状															
12	障害児支援のための「連携」の現状と課題(4) 教育と医療の連携における課題															
13	教育現場における特別支援教育の現状と課題(前編)															
14	教育現場における特別支援教育の現状と課題(中編)															
15	教育現場における特別支援教育の現状と課題(後編)															
ラーニング	A:知識の定着・確認	時間外学修(毎回の小レポート)、調べ学修(文献、インターネット)				工夫 その 他の										
	B:意見の表現・交換	、プレゼンテーション、ディスカッション														
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	調べ学修(文献、インターネット)により、各種資料の理解を進める。(15時間)														
	事後学修	授業で学習したことを整理し、各種資料に関する理解の定着、深化を図るとともに、調べ学修(文献、インターネット)等により、自らの視点での分析、その分析結果に基づく課題解決のための提案を省察する。(20時間)														
教科書	特に指定しない。															
参考書	自治体において、現在、使用されている資料(手引き、ガイドライン等)。その具体については、初回配付資料にて明示する。															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	毎回、小レポートを課す。	90%														
	アクティブラーニングの取り組み状況	10%														
注意事項	* 授業内でMoodleを使用することもあるので、Moodleを閲覧できる媒体(スマホ、タブレット端末、ノートPCなど)を持参すること。また少なくとも週に1度はMoodleのこの科目のページを閲覧し、準備学修、事後学習に活用すること。															
備考	特になし。															
リンク	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	高橋徹弥：特別支援学校教員，指導主事 未定：特別支援学校校長・教員，教育委員会，教育センター指導主事
実務経験を いかした教 育内容	特別支援教育・障害児支援の今日的な課題の詳述及びそれらへの対応を教授する。